

記事を読んで、問いに答えましょう。

2023年12月12日 東部版

和紙の手すきに挑戦する児童 富士宮市の内藤恒雄手漉き和紙記念館



でこぼこ和紙で卒業証書

※小学校低学年の人は、家の人や先生と一緒にやりましょう。

白糸小児童 手すきに挑戦

富士宮市の白糸小6年生11人は11日、卒業証書に使う和紙を手作りした。自ら手がけた唯一無二の卒業証書を受け取る日を楽しみに、慎重に作業を進めた。

児童は同市上柚野の内藤恒雄手漉(す)き和紙記念館で伝統技法に挑戦した。原料のミツマタを富士山伏流水で溶いた液体を、すき槽から簀桁(すげた)で丁寧にすくった。駿河半紙技術研究会長の内藤恒雄さん(75)から手ほどきを受け、全体が均一になるように簀桁を前後左右に振った。すいた和紙は乾燥させた後に名前を印刷し、3月19日の卒業式で児童が手にする。赤池萌愛さん(12)は「少しでこぼこが残ったけれど、世界に1枚しかない証書が楽しみ」と話した。

白糸地区はミツマタの計画栽培が国内で初めて行われたとされる。同校は地域の歴史を学ぶ一環として卒業証書作りを始めて19年目を迎えた。(富士宮支局・国本啓志郎)

- ①和紙の原料の記事中から見つけて書きましょう。()
- ②見出しの「でこぼこ和紙」とは、どのようなものを指していますか。()
- ③児童はどんな気持ちで和紙をすいていると思いますか。児童の気持ちを想像して、30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

記事を読んで、問いに答えましょう。

2023年12月12日 東部版



和紙の手すきに挑戦する児童 | 富士宮市の内藤恒雄手漉き和紙記念館

でこぼこ和紙で卒業証書

※小学校低学年の人は、家の人や先生と一緒にやりましょう。

白糸小児童 手すきに挑戦

富士宮市の白糸小6年生11人は11日、卒業証書に使う和紙を手作りした。自ら手がけた唯一無二の卒業証書を受け取る日を楽しみに、慎重に作業を進めた。

児童は同市上柚野の内藤恒雄手漉(す)き和紙記念館で伝統技法に挑戦した。原料のミツマタを富士山伏流水で溶いた液体を、すき槽から簀桁(すげた)で丁寧にすくった。駿河半紙技術研究会長の内藤恒雄さん(75)から手ほどきを受け、全体が均一になるように簀桁を前後左右に振った。

すいた和紙は乾燥させた後に名前を印刷し、3月19日の卒業式で児童が手にする。赤池萌愛さん(12)は「少しでも残ったけれど、世界に1枚しかない証書が楽しみ」と話した。

白糸地区はミツマタの計画栽培が国内で初めて行われたとされる。同校は地域の歴史を学ぶ一環として卒業証書作りを始めて19年目を迎えた。(富士宮支局・国本啓志郎)

①和紙の原料を記事中から見つけて書きましょう。(**ミツマタ**)

②見出しの「でこぼこ和紙」とは、どのようなものを指していますか。

(例) 手ですいたため、でこぼこが残っている和紙。

③児童はどんな気持ちで和紙をすいていると思いますか。児童の気持ちを想像して、30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

・自分ですいた、世界に1枚の卒業証書を受け取る日が楽しみだ。(29字)

・全体が均一になるように簀桁を前後左右に振るのは難しいな。(28字)

・紙すきの伝統技法に挑戦しながら、地域に伝わる歴史を学ぼう。(29字) など

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏

(小学校～中学校/生活、社会、総合)

年 組 名前